

広報たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111 (代表)

人口

— 1月31日現在 —

9,419人	男	4,586人
	女	4,833人
世帯数	2,594	
転入	21	出生 14
転出	33	死亡 5



たしかな春の訪れ
寒暖が周期的に訪れる日々ですが、春の訪れを告げるハルリンドウが咲きほころびました。ポカポカ陽気に誘われ、戸外に出た子供たちは「春の先兵」を見つけて大はしゃぎ。小川の水や山野を吹き抜ける風も心なしか暖かみが出てきました。春はもうそこまできています。

第259号 3月
昭和56年

おもな内容

- ☆ 町の総人口は8,806人
国勢調査の結果まとまる.....(2)
- ☆ 城山で簡易水道の起工式.....(3)
- ☆ 子供を交通事故から守ろう.....(4)
- ☆ 青年団体連絡協が「町議と語る会」.....(5)
- ☆ 素人肥後にわか大会で町向上会代表が優勝.....(6)
- ☆ 二つのグループ 老人ホーム慰問.....(7)

火事・救急車は 電話119へ	4月5日	3月29日	3月22日	3月21日	3月15日	3月8日
富小	富上	富後	富立	富渡	富寺	
②0075	⑤0336	⑦0019	⑧0111	⑦1777	②0378	
院	院	院	院	院	院	

診療は午前9時から午後5時まで

町民

文芸

肥後狂句

高森線 闇屋時代イ恩のある
我慢々々 嫁の起こしイ来らす迄
君もかい、酒の祟りが飲むカメラ
高森線 生活権も取り上ぐる
阿蘇の夜明け 土産に撮す帰省組
阿蘇の夜明け 娑婆の苦勞もつい忘れ
高森線 時計がわりもして呉るゝ

俳句

凍解けや裏戸より吹敷き
冬雨に濡れてくつきり句碑の文字
雪踏みて今朝も続くる深呼吸
雷の大地ゆるがし春告ぐる
さしのぞくねおこの児の笑顔かな
野遊びの小川にしじみ採る親子
園児等の影踏み遊び日脚伸ぶ
床上げをやとせし姑草青む
歯の治療終れば外は春時雨
週末の娘よりの電話日脚伸ぶ
施設でふ園の庭にも芽ぶくもの
炭焼の生活残りし谷の春
吾と共に胎重ねし雛飾る
鉢植への姿優しいすだれ梅
雪化粧日毎にかえる阿蘇五岳
昇る陽に柔かさあり春兆し

浦塚 南天
岡本 琴司
林田 一声
二子石探訪
田上黙公子
馬原 馬笑
林 不忘

甲斐ハルエ
熊谷こう女
山村 純女
弥永 露子
松岡 信子
内田 文子
相原 寿
林 久恵
古庄 泰子
柴田ふい子
平田るり子
岩下 扶美
山村ふみ子
白石 政憲
後藤 浩能

おめでたおくやみ

出生	S 56. 1. 16~2. 15受付
(住所)	(出生児)(性別)(生年月日)
村山 清二	明日香 女 56. 1. 7
横山 有働	陽子 女 1. 11
上町 佐藤	友美 女 1. 8
下町 佐藤	美加 女 1. 24
東中原 佐伯	隆和 男 1. 20
上町 工藤	剛光 男 1. 29
横山 桐原	一紀 女 2. 5
上町 白川	達士 女 2. 10
矢津部 渡辺	真幸 男 1. 13
草津部 栗焼	幸雄 男 1. 30
河津部 澤崎	裕司 女 1. 28
津留部 嶋田	恒一 女 1. 6
津留部 甲斐	正一 女 1. 17
野尻 栗焼	憲章 女 1. 18
尾下 藤本	厚夫 女 1. 24

死亡	(住所)	(遺族)(続柄)(死亡者)	(年齢)(死亡年月日)
横町 相馬	貴美子 夫	相馬 磨 46	56. 1. 30
横町 宮内	シズエ 夫	宮内 清 69	1. 31
戸狩 岩下	守 妻	岩下 イヨ 63	2. 3
天神 工藤	ヨシ子 夫	工藤 安 76	2. 7
村山 本田	久人 母	本田 ハルエ 88	2. 10
菅山 木本	眞清 母	木本 ハナ子 70	1. 18
草部 佐伯	誠喜 養父	佐伯 辰雄 88	2. 9

結婚 (氏名) (住所) (婚姻届年月日)
(夫) 甲斐 新也 津留部 原田 56. 1. 30
(妻) (堀) 富喜子 大分県竹田市

(二)(寄)(付)

ありがとうございます

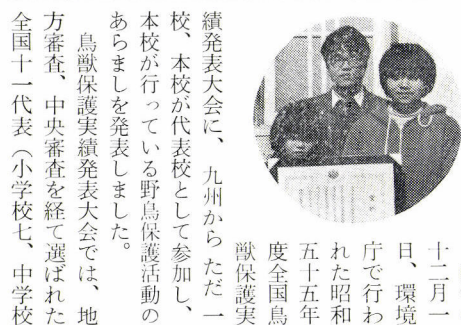
- ▽町社会福祉協議会へ
- ▽菅山の木本勝さんから
(妻、ハナ子さん・70歳死去)
- ▽高森旭通りの後藤エイさんから
(夫、貞夏さん・76歳死去)
- ▽高森横町の宮内シズエさんから
(夫、清さん・69歳死去)
- ▽下町の工藤保さんから病氣見舞
の返礼にかえて金一封
- ▽高森横町の宮内シズエさんから
横町老人クラブへ金一封
- ▽草部の佐伯誠喜さんから高森町
青少年育成町民会議草部支部と
草部福寿会へ金一封

東の間の早春の陽さしかみぞれ降る
春立つや一雨毎に土柔し
向い合ふ鷗ゆらく春の海
寒林や一、二葉残し静なり
薄氷を少し残せし水溜り
露のとう崩れる土手にしがみつ
浮き出づる凍りに裏戸開かずなり

後藤 法龍
瀬井 幸一
阿部 タツエ
後藤 やよい
後藤 チエ
本田 訓子
森 政隆

あとがき

▽三月といえば入学、卒業、それに年度がわりのシーズン。みなさんのご家庭でも何かと落着かぬ時期ではないでしょうか。▽今月号で紹介した「町議と語る会」は盛況でした。若い人も積極的に町議会を傍聴して、町や議会の動きを知ってほしいと思います。



鳥獣保護実績発表大会では、地方審査、中央審査を経て選ばれた全国十一代表（小学校七、中学校

林野庁長官賞を受賞 全国鳥獣保護発表大会で

学校だより

野尻小学校

昨年の十二月一日、環境庁で行われた昭和五十五年度全国鳥獣保護実績発表大会に、本校が代表校として参加し、鳥獣保護実績発表大会では、地方審査、中央審査を経て選ばれた全国十一代表（小学校七、中学校



このページは、みなさんから寄せられた原稿で編集するページです。身近な話題や、できごと、提言などをお待ちします。原稿のあて先は役場総務課広報係。住所氏名、年齢、職業をお書きください。紙上だけ匿名扱いできます。また「わが家の王様」に登場させたい方などご紹介ください。



山村酒造に飾られた杉の大玉

電話を上手に使いましょう
電話をかけるときは、電話帳やメモ帳で確かめてからきちんと指でダイヤルしてください。もし間違ひ電話をかけてしまったときは「すみません」といってねいに詫言ひましょう。特に深夜の間違った電話は相手に大変迷惑です。
◎番号はメモ帳などで確かめてからダイヤルしましょう。メモ帳をマメに整理しておく、いざというときあわてなくて済みます。
◎お話し中のときは、三分間待ってからもう一度ダイヤルするようにしましょう。



電話一ロメモ



正月が過ぎ初春のいき吹きを感じるころになると、酒造家の前に杉の大玉が飾られているのが見られる。ふるさとの春の風物詩としてはほほえましい。
杉玉は古くから酒屋の看板として知られているが、もともとは杉の葉を束ねただけのもので、元来、日本の酒造りの神様とされる大物主大神と小彦名神を祀る三輪明神、大神（おのみわ）神社（奈良県桜井市）の神

呼ばれる由来は、中国では酒屋の看板を「酒屋望子」といい、この「ぼうし」が「ばやし」と訛ったという新井白石の説。また酒の異名「掃懸帯」から「酒帯」が転訛したという説などがある。毎年、新酒のできるところ揚げられる青々とした杉玉は、季節の移り変りとともに色づいてくるが、それは新酒の爽やかさから枯淡ともいえる古酒の味わいまで、四季折々に染しめる日本酒の味の推移を教えてくれるものでもある。おもしろいことには西欧でも、酒屋のシンボルとして酒林に似た「松林」というものを飾っている酒蔵があるという。（酒造り記録から）

ふるさとの春の風物詩

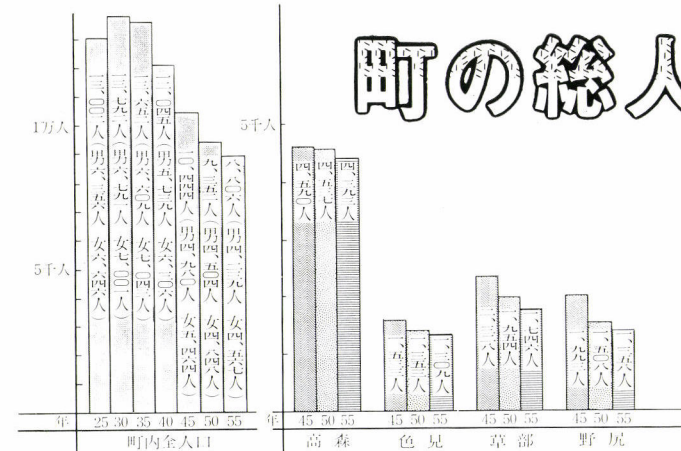
高森町文化協会

町の総人口8,806人

55年国勢調査

50年に比べ5.5%の減

世帯別では高森地区が増



昨年十月一日現在で実施された国勢調査の人口・世帯数が、このほどまとまりました。それによると、町の総人口は八千八百六十六人（男四千二百三十九人、女四千五百六十七人）で、前回の五十年調査に比べ五・八割、五百四十六人少なくなっています。これを旧町村ごとに見ますと、高森地区は四千三百九十三人で、前回に比べ百四十四人（三・二割）の減少。男女別では男二千六十四人（八十九人減）、女二千三百二十九人（五十五人減）となっています。色見地区は千三百九人で、これも前回に比べ百四十四人（三・三割）減少。男女別では男六百四十六人（十

昭和55年国勢調査の結果

（人口・世帯数）

旧町村別		世帯数	世帯人員	男	女
高森	55年	1,349	4,393	2,064	2,329
	50年	1,306	4,537	2,153	2,384
	増減数	41	△ 144	△ 89	△ 55
		増減率	3.0	△ 3.2	△ 2.3
色見	55年	300	1,309	646	663
	50年	309	1,353	663	690
	増減数	△ 9	△ 44	△ 17	△ 27
		増減率	△ 2.9	△ 3.3	△ 3.9
野尻	55年	426	1,358	679	679
	50年	450	1,508	733	775
	増減数	△ 24	△ 150	△ 54	△ 96
		増減率	△ 5.3	△ 9.9	△ 12.4
草部	55年	482	1,746	850	896
	50年	525	1,954	955	999
	増減数	△ 43	△ 208	△ 105	△ 103
		増減率	△ 8.2	△ 10.6	△ 10.3
合計	55年	2,557	8,806	4,239	4,567
	50年	2,592	9,352	4,504	4,848
	増減数	△ 35	△ 546	△ 265	△ 281
		増減率	△ 1.4	△ 5.8	△ 5.8

七人減）、女六百六十三人（二十七人減）となっています。次に、野尻地区は千三百五十八人の人口。前回に比べ百五十八人（九・九割）減少しました。内訳は男六百七十九人（五十四人減）、女同数の六百七十九人（九十六人減）となっています。草部地区は千七百四十六人。前

旧町村別では、高森千三百四十九（四十五世帯増）、色見三百九（九世帯減）、野尻四百二十六（二十四世帯減）、草部四百八十二（四十三世帯減）となっており、全体の過疎化の中で、ただ高

この数字は町が集計した概数です。改めて今秋十月ごろに、総理府統計局が「昭和五十年国勢調査報告第三巻」で、詳細に公表の予定です。この資料では都道府県単位、あるいは市区町村ごとの人口、世帯集計、そのほか年齢別による就学、労働力状態もわかります。国勢調査、その他の統計調査について詳しくは、役場企画課へおたずねください。

回より二百八十八人（一〇・六割）減少しています。男百五人、女百三人がそれぞれ減りました。

森地区だけが増加しています。全数集計は総理府が今秋に公表

高森地区の飲料水渇水対策のカナメとなる簡易水道配水管敷設工事（五十五年度分）の起工式が二月十六日、高森峠城山の工事現場で行われました。

高森地区の水源は、さる五十年国鉄高森トンネルの掘削工事の途中に水脈が切断されて、全く役立たずになったことから、日本鉄道建設公団が代替に恒久的な水源を補償することになり、そのための工事を町に委託しています。

工事概要は同トンネル内の湧水をいったん城山の高台までポンプアップして貯え、自然流下方式で各戸に供給するというもの。五十三年度から工事に着手。これまで約一億八千五百万円の事業費



簡易水道工事現場で安全を祈る関係者

鉄建公団の水補償工事

城山で簡易水道起工式

で城山運動会場跡地に二千九十メートルの貯水池を建設したほか、トンネル斜坑から八百六十五メートル離れた同貯水池までの送水管敷設、さらに同貯水池周辺は国道バイパスが通るため、貯水池から二百五十メートル離れた所まで配水管が埋設されました。

断水、渇水の解消めざす

四月から国民年金の保険料は、これまでの三千七百七十円から四千五百円に改定されます。

国民年金は、歳をとったり、障害者となったり、母子世帯になったりしたときに年金を支払って、加入者の生活の安定を図るための

4月から国民年金の保険料が改定されます

ものです。そのために、支給年金額に物価スライドによる増額制がとり入れられ、毎年のように引き上げが行われています。今回の引き上げもあなたの将来の年金をよりよくするためのものです。ぜひ、ご協力ください。

起工式には尾木同公団高千穂鉄道建設所長はじめ、町役場、土木事務所、上在地区などの関係者約三十人が出席。工事を請負った大協株式会社、昭和水道、共栄設備工業の代表がそれぞれクワ入れを行って工事の安全を祈りました。

今年度は、上在地区への給水に必要な百メートルが建設されるほか、給水対象地区に向けて総延長二千八百三十六メートルの配水管が敷設されることになっています。事業費は約一億円。

健全な青少年育成を

町民会議草部支部が総会



山田婦人警察員の講話を聞く草部地区住民

高森町青少年町民会議草部支部（佐伯誠喜支部長）の五十五年度総会は、二月十日草部の基幹集落センターに、青少年の健全育成にたずさわる地元住民や町、警察の関係者ら約百五十人が出席して開かれました。

開会に先だって、ある女子高校生が転落ケースを描いた映画「つづれたハーモニカ」を鑑賞。このあと、熊本市東警察署の山田婦人警察員が熊本市内で起きた非行事例を挙げながら約一時間にわたって講話。青少年の非行は、家庭のしつけのあまさが原因であると指摘しました。

このあと議事に移り、五十五年度の事業経過と決算を承認して、五十六年度の事業計画、予算を決議。地域ぐるみによる青少年の健全育成活動を実現するため、社会環境の健全化を強力に推進することなど申し合わせました。

お知らせのページ

申告と納税は3月15日までに

所得税の確定申告と納税の期限は三月十五日までです。まだ申告と納税がお済みでない方は、お早目におすませください。

申告書はご自分で書いていただくことになっていますが、書き方などでおわかりにならないときは、巡回納税相談会場でお気軽にご相談ください。

納税相談の日程は本紙前月号に掲載してあります。

お題は「橋」

歌会始めの詠
進要領決まる

五十六年歌会始のお題、および詠進要領が宮内庁から次の通り発表されました。

お題は「橋」。詠進は未発表の自作の歌を一人一首。白紙の半紙を二つ折りにし、右半面にお題と歌、左半面に郵便番号、住所、氏名（本名、ふりがな）、生年月日、職業を毛筆で自書する（海外からの場合や盲人は除く。代筆の場合は理由書を添える。職業はな

るべく具体的に「無職」「主婦」などと書く場合は元の職業も書く。詠進期間は九月一日から十月十日まで（当日消印有効）。あて先は「〒一〇〇 東京都千代田区千代田一番一号、宮内庁」で、封筒に「詠進歌」と書く。問い合わせは、返信用切手を張った封筒を添え、宮内庁式部職へ。

上在地区の国道を交通規制

天神三差路―坊ヶ平間の国道は、簡易水道の配水管埋設工事のため、次の通り交通規制を行っています。

◇迷惑と思いますが、しばらくご協力をお願いします。

◇規制の方法 片側通行

◇規制時間 午前九時～午後五時

◇期間 三月二十五日まで

固定資産課税台帳の縦覧を

固定資産課税台帳（土地、家屋償却資産）の縦覧は、もうお済みですか。現在、本町役場では三月二十日まで関係者への無料縦覧を行なっています。

国民健康保険の税率算定は

【問い】国民健康保険の税率算定基礎を知らせてほしい。

【答え】保険税は町が行う国民健康保険事業の費用に充てるために課税されるものです。これは、みなさんの所得申告が終った時点で次の方法で計算されます。

一年間の国保事業に要する総経費から国の補助金等を差し引いた残額を「基本課税額」といいますが、まず、この基本課税額のうち五〇割を所得割として課税します。この所得割を各世帯に賦課する場合の税率は、全世帯の総所得額（課税標準所得）を所得割分の賦課割合（五〇

4月1日から被保険者証が新しくなります

国民健康保険

国民健康保険の保険証が四月一日から新しくなります。被保険者のみなさんには、次の日程で新しい保険証を交付しますので、最寄りの会場においでください。

学生や出稼のみなさんなどに交付されている別口の保険証も三月三十一日で期限切れになります。

会場では旧保険証と引き換えに新しい保険証をお渡ししますので、必ず旧保険証をご持参ください。また、同時に救急常備薬（補充用）も配布しますのでご利用ください。

【三月三十日】▽基幹集落センター（九時～十二時）▽農協草北支所（十三時～十四時）▽河原公民館（九時～十時）▽尾下小学校（十時半～十一時半）▽林業センター（十三時～十六時）

【三月三十一日】▽農協上色見支所（九時～十二時）▽農協色見支所（九時～十一時半）▽畜産センター（十三時～十七時）

おたすね

【おたすね】で除いて得た率をそれぞれの世帯の所得に応じて乗じます。

次に、基本課税額の三五割を均等割額として課税します。これは被保険者全員で除いて得た金額です。その金額を世帯の人員に応じて賦課します。

最後に基本課税額の一五割は世帯別平等割として算定されます。つまり、基本課税額の一五割を世帯数で除じた額が、一、三つの課税基礎によって保険税が決まります。しかし、全く所得がなかった世帯や、基礎控除額以下の世帯については、算定した税額から一部を減額するよう条例で規定しています。

所得割など三つが課税基礎

子供を交通事故から守ろう

例年、日照時間が長くなる今ごろから、子供の交通事故は増加の傾向にある、ということ。このことは「幼児の戸外での遊びが増えること」と「新入学（園）児童の通学（園）が始まる」から。新入学（園）児童を持つ親は特に、口先で注意するだけでなく、通学（園）路を一緒に歩いたりして、子供の安全に関する態度や能力を育てていきたいと思います。

入学（園）を前に

家庭で安全教育を

飛び出しに 細心の注意

昨年の県下の交通事故による死者は百四十二人で、前年に比べ三十三人増えました。これは二軒に一軒の割合で自動車普及して「走る凶器」が増えつつあること、また運転時にシートベルトをつけていないことが大きな原因の一つに挙げられます。

ところで、交通事故の中でも子供の事故が最も悲惨です。子供が家を出るとき、たいていの家庭では口をすばくして「車に気をつけて」という注意をしているようです。だが、子供は、そのときどきの心の動きで、急にはしゃいだり、思いきった行動に出たりするため子供にはブレーキになりませ

通学路を親子で確認

これまでの県下で起きた子供の事故の特徴は次の通りです。

①年齢別にみると行動範囲がひろがり、物ごとへの関心が強くなる三歳から六歳までが特に多く、これらの幼児が交通事故にあらう率は、中学生の四倍以上に達しているといわれます。

②時間帯では、午後二時から午後六時までが多く、特に午後四時前後に集中して発生しています。



横断歩道は正しく渡る習慣を

これは幼稚園や学校などから解放された気のゆるみと、交通の増加、それに母親が家事に忙しくて子供に対する注意が、おろそかになるからです。

③場所では、やはり自宅近くが多く、百円以内の交通事故は約六割を占めています。

④原因別では「飛び出し」が全体の八割を占め、次に「車の直前直後の横断」「路上遊戯」の順になっています。

この点を、子供に強調しておきましょう。

安全な行動を習慣づける

口で「危ないですよ」と注意するより④横断歩道でまず右を見てから左を見て渡る回なめ横断は危険。横断歩道のない場所では道と直角に渡る⑤黄色の注意信号の場合は、絶対に渡らないなど、具体的にどういう行動をとったらよいかを教える。

自転車へは飛び出さない

ボール投げをしていて、車道へころがったボールを拾おうとして事故を起こす場合がある。車道の向こう側でだれかが呼んでいる時、あわてて渡ろうとするのはやめよう。

自転車——交通信号守ろう

特別の標識がなければ左側通行。車道が一番左端を通ること。自動車と並んだり競争をしない。道路標識、交通信号は正しく守る。サドルの高さ、ブレーキ、ベル、ランプなどの装置が完全かどうか、いつも注意する。

四月六日から十五日までの十日間は「春の交通安全運動」が展開されます。今回も子供の事故防止、特に新入学（園）児の交通事故防止が重点とされているようです。各家庭でも、子供の交通事故の特徴をよく知って、安全教育を行っていきましょう。

野仏さん こんにちば

<5>

静かに思えば、人はいずから来ていずこへ去るのか。この世にある限りだれともわからぬもの手に握られた運命の糸に操られて、一喜一憂しながら短い生涯の旅路を歩き続けてゆく。

日の当たる明るい道、暗くじ

ずとも、路傍や辻のどこでもお願いできる仏様。それが身上の仏様である。

それだけに、お顔も身なりも苦の薩中でただひとり、簡素で行動的な僧形の旅姿をしていらつしやる。お呼びすれば、お願いすれば、すぐにかけつけて助

紅顔地蔵菩薩

めじめと湿った道、まっすぐに伸びた平らな道、曲がりくねった上り下りの道。何が起ころ、何が待ち受けているのかわからない不安な道。しかも、後戻りも出来ず自分がつけていくとすじの道。黙って歩いて行くよりほかに仕方はあるまい。

しかし、容赦なく、思いもかけぬ災難や死が、一瞬に小さな幸せを奪い、ほのかな明かりさえも消すことがある。そんなとき、心の底からしぼり出た人々



メモ 阿蘇郡高森町上在 含蔵寺境内。元禄十六年のもの。墓塔に知秋童女とあるが、とても子供の墓とは思えない。当時の武田一族の隆盛がしのばれる。像高九十六センチ。 佐藤 武之

大喜びのお年寄り

舞踊・民謡 老人ホームを慰問



お年寄りに踊りを披露する草部若松会

舞踊教室の「草部若松会」と、民謡「火の国会高森教室」は、このほど長陽村にある老人ホーム「湯の里荘」を訪れ、舞踊や民謡などで恵まれないお年寄りを慰めました。

「草部若松会」は、社会の甲斐節子さん（四七）の率いる日本舞踊の教室。現在、草部地区の主婦を中心に約十五人の教習生がおり、月三回の指導を受けています。昨年の敬老会などに出演した際の「御花」を有効に生かそうと、二月八日に老人ホーム慰問が計画されました。

一行は果物を手みやげに訪れ、さっそく、得意の舞踊に移りました。

た。お年寄りたちはなじみの「ちやつきり節」や「北国の春」などが、次々に出されると大喜び。老人側も飛び入りで踊りの仲間に加わり、楽しい半日を過ごしました。

一方、民謡火の国会・高森教室は、日ごろテレビのほかに、これといった娯楽のないお年寄りたちのことを考え、熊谷乾代表ら二十人が二月九日に慰問。自慢の民謡のほかに、踊り、にわか披露して、お年寄りに「楽しい一日」をプレゼントしました。この日は師匠の仲原寛昌美さんや尺八、三味線の先生も熊本市からかけつけ、発表会さながらの熱演ぶりでした。

議会の動きなど聞く

青年団体が町議と語る会

町議と語る会（高森町青年団体連絡協議会主催）が二月十九日午後七時半から町民センターで開かれました。町議会の内容と動きを知り、同時に若者のナマの声も議会に反映してもらおうと初めて計画されました。

主催者側から青年団、商工青年部、4HCの若者約六十人、議会側から事務局を入れて十七人、役場から青年活動を所管する経済課、商工観光課、教育委員会の課画されました。

座談会では、若者から「町の振興の柱になる企業誘致に力を入れているのか」「町民期待の総合グラウンド建設はどうなっているか」「道路の整備に本腰で取り組んでいるのか」「役場新庁舎の建設は時期尚早ではないか」など日ごろの不満や要望が次々に出されました。これに対し、議員らは

「企業誘致は必要。だが景気の低迷で適当な企業が見つからない。当面の水・鉄道などの問題を解決して、公害のない企業誘致に努めたい」「総合グラウンドの建設は、用地や財源難で行き詰っている。しかし、町はこれにかわる運動広場を国の補助事業で計画している」「道路整備については、未舗装地域の実情を十分考えたい」「役場庁舎は近隣町村でも改築しており、本町の場合は老朽化や手狭な点、住民サービスなど慎重に検討した」などと回答、こんどは議員の方から「町議のイメージは」「いまの議員数は適当と思うか」「議会の必要性を感じないか」など、三時間にわたって、熱心な対話が行われました。

共同募金地区別実績

(単位 円)

地区別	目標額	実績額
上 色 見	47,600	42,350
色 見 見	53,200	47,950
高 森	453,600	389,200
草部南部	128,450	109,700
草部北部	45,850	31,500
野尻南部	117,250	95,900
野尻北部	33,950	27,300
計	879,900	743,900
大金募	117,000	
口募	35,000	
人募	5,522	
域募	16,425	
の募	65,000	
そ		
バ		
ッ		
チ		
募		
金		
他		
金		
計	982,847	

目標額を上回る実績

共同募金

恵まれぬ人へ

昨年の共同募金は、みなさんの暖かいご協力で、目標額に対し一三二万九千八百四十七円の寄付を集めることができました。厚くお

熱心な対話が行われた町議と語る会

寄付者は次の通り（敬称略）。
▽一万円 二子石鉄幸▽四千元 草村工業▽三千九百五十円 草部北部中学校生徒会▽二千元 岡本伝阿蘇畜協、豊前屋、高森縫製、高森タクシ、豊後屋商店、山室ツニ、平田美穂、永井れい子、東秀也、馬原敬一、▽千六百十七円 役場草部出張所職員、▽千円 吉田屋呉服店、阿蘇たばこ耕作組合、大塚商店、高森ガス販売、岩下製材所、古沢ケサ子、田上誠記、富永福美、甲斐幸男、甲斐敏、成田博満、草村義行、熊谷宗人、野尻捨喜、甲斐定国、草村伸夫、後藤本安、瀬井きよ子、瀬井とみ子、熊谷績雄、原田満理子、野尻信之、本田国光、伊藤幸子、本田春江、本田三学、安藤一雄、山下輝雄、安藤良一、井上敬雄、井上恵、伊藤公博、池田文夫、本田忠士、今村俊男、岩下八束、馬原守雄、吉井正則、中川清澄、後藤幸充、小林常雄、津留今朝寿、守藤千年、宇藤良夫、岩下励、岩下代美子、徳丸リン、後藤幸光、佐伯阿蘇一、檜木野幸男、高倉一人、岩下久太郎、池田富平、本田卓、佐伯次夫、後藤英範、檜木野徳繁、安方広光、本田耕亮、古庄政子、鶴林寿典、後藤敏士、石原建設、日向屋、スーパームツ、松田興業、高森ストーク、高森石油、シルクソーイング、渡辺木工所、住吉林業、高森製材事業協同組合、野脇商店、塚本商店、熊谷康、山村英男、堀睦夫、福永梅喜、宇藤幸喜、佐伯誠喜、甲斐ヒデ子、工藤猪次郎、富永頼秋、富永栄一、甲斐一誠、大内田かつえ、後藤フジエ、阿南元光、橋本光男、芹口昭也、後藤深、後藤松男、森忠一、後藤健夫、後藤包、後藤寛、森正六、白石武俊、鶴林豊成、一子石ニツ子、一子石澄子、佐藤恵子、二子石一蔵、児玉邦昭、矢津田次男、渡辺昭光、岩下つや子、増田喜久吉、本田嘉遠、小糸善弘

町向上会代表が優勝

TKU・素人肥後にわか大会

伝統の「道行き」など受ける



「あわてもん」を演じる青年向上会

さる二月一日から二月十五日までの日曜、祭日に熊本市のサンピアンで開かれた「第一回素人肥後にわか大会」で、本町の青年向上会がみごと優勝しました。

同大会は、郷土芸能の肥後にわかをもっと県民に楽しんでもらおうと、TKU・テレビ熊本が企画主催したものです。県下の各市町村から選抜された素人劇団は、まず三日に分けた予選に出場、ばつてん劇団の簗田又雄氏や主催者側による厳しい審査の結果、本町ほか大津町、熊本市、益城町の三市町村が決勝に進出しました。

本町向上会の出し物は「あわてもん」。新婚三か月の若妻が急に産気づき、あわて者の夫が産科の

医者ならぬ、白衣をまとったあんなさんや耳鼻科の先生、はては坊さんまで連れて来て一騒動すると

いうあらすじ。

三味、太鼓の囃子（はやし）から役者まで町内五区向上会の人気者だけに、本番の息もびつたり。わずか十三分の持ち時間にもかかわらず、独特の道行きや巧みな話術、うまい話しの落ちで観客を引きつけ、高い得点で一位に選ばれました。

坊さん役で出演した秋山清二さん（五）は「予選のときに馬鹿うけしたので、ひょっとしたら上位に入賞できるかも知れないと、みんな一生懸命にがんばりました。囃子に乗った道行きと、劇のおもしろさが買われたようです。向上会あがての応援がなにより心強かった。これを機会に、さらに盛んな文化活動をやりたい」と喜びを語っていました。

暮らしを脅かす 不法電波

無線機の運用は免許が必要

最近、不法電波による電波障害が全国的に増え、年間一万件を超えるトラブルが発生しています。そのため、正常な電波通信は「SOS」の危機にひんしています。不法電波は、その九割が長距離トラックやダンブカーから発信さ

れており、多くはハイ・パワー市民ラジオといわれる強力で多数の電波を発信できるトランシーバー（無線機）です。これは、普通のトランシーバーと違って、電波法に規定以外の周波数または規定以上の強い電波が

マムシをなんと 50匹持ち帰る

建設課職員

二月上旬、役場に突然マムシ約五十匹が持ち込まれ、執務中の職員たちはびくりました。

これは大字中・峯の宿の治山工事現場で作業をしていた人が、冬



眠中のヘビ群（約三百匹）を掘り当て、この一部を建設課職員がお堀（すそ）分けてもらい持ち帰ったというもの。ビニールの肥料袋二つに入れ、逃げられないようにしてはあるものの、ひと塊の猛者たちがお互いに体をからませ、スツとカマ首をもたげたさまは無気味。うわさを聞いて女子職員も駆けつけましたが、見たさ半分、こわさ半分でした。

結局、このマムシ群団、マムシ焼酎にされるハメとなり、一升ビンのマムシショへと宿替えさせられました。

◇一度に三百匹ものマムシが一度に捕れるとは、ほんとに珍らしい話です。一升ビンに移されたマムシたち

でるもので、使用が禁じられている不法無線機なのです。

昨年発生した電波障害をみてみると、一般家庭のテレビ・ラジオを混乱させているほかに、たと

えば、暴走族グループが覚せい剤の情報交換に不法電波を使用するとか、マイカーや長距離トラックの運転手が、警察の交通取締まりを逃れようと、仲間同志で警察の情報を交換するために使用して、電波障害を起こしています。

郵政省では、このような不法無線局の一掃に、これからも今まで

以上に強い態度でのぞむ方針で、みなさんの理解と協力を呼びかけています。電波の取扱いについては、次の点に十分注意してください。

- ◎市民ラジオを買うときは、検定マークを確かめ、免許を受けて使いまししょう。
- ◎ハイパワー市民ラジオは違法です。
- ◎アマチュア無線局には、無線従事者の資格が必要です。